

Butterfly Knot

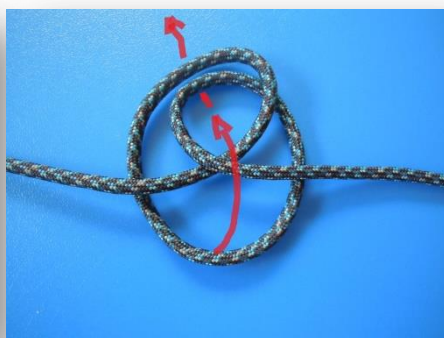
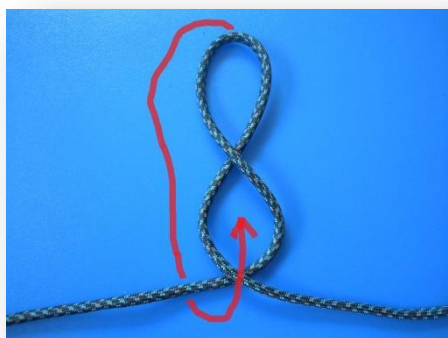


コードの途中に輪を作る結び方です。

この結びでは、コードにテンションを掛けても、輪の大きさは変わらず、輪の位置も動きません。

キャンプサイトなどで木々の間にコードを張っておき、その途中にこの結びを付けておくと、ものを掛けたりするのに便利です。

写真ではこの結びの表と裏の様子を示しています。

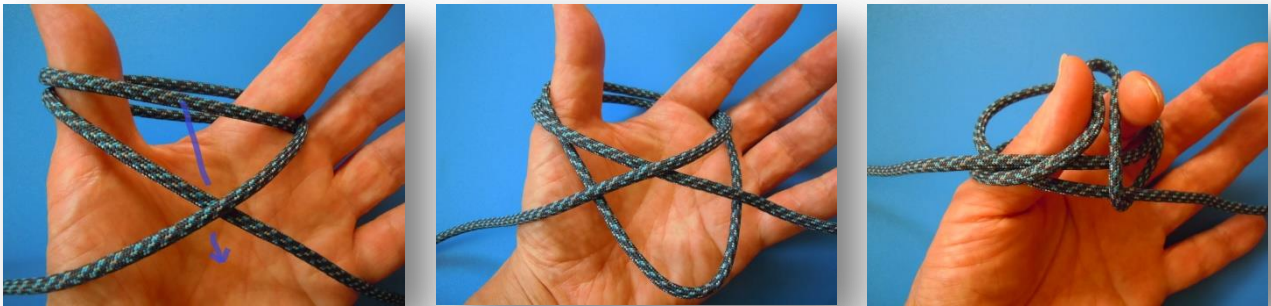


結びの構造は折り返したコードの先端を、コードのクロスしている部分を通して真ん中の輪の中に入れるようになっています。



この状態で輪を引き締めると結びが完成します。

結び方その1 親指と人差し指を使って



親指と人差し指にコードを2回巻き付け、手前でクロスしている下から引き出し、それを親指と人差し指に渡します。そして指を抜き、引き出したところを輪にしてコードを引き締めます。



結び方 その2 掌を使って



掌に3回コードを巻き付けます。一番端のコードを1本右に移動します。出てきた一番手のひらに近い方のコードを指に渡します。指のコードを引き、手からコードを抜きます。すると横向きのバタフライノットができています。全体を引き締めれば完成です。



結び方 その3 指先を使って



コードの端を握り、人差し指、中指、親指に 2 回巻き付け、もう 1 回は親指を避けて巻きます。一番奥で握っている端のコードを親指にかかっているコードの外側に被せ、左端になった輪を人差し指と中指に渡し、指にかかっている輪の中を引き抜きます。すると、この結びができていて、全体を引き締めれば完成です。



いろいろなやり方がありますが、状況やコード、ロープの太さに応じて工夫してください。
登山では、ザイルの途中にこの結びを付けて、身体を確保するのも使われているようです。